

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

救急期

(早急に取り組む
必要があるもの)

リハビリ期

復活期

第1弾

第2弾

第3弾

第4弾《今回》

市独自に実施 するもの

国の補正予算 に対応するもの

- 事業持続化支援金
- 公共交通緊急支援費
- 市税、水道料金等の納付猶予
- 特別定額給付金
- 子育て世帯への臨時特別給付金
- マスク、消毒薬品等の購入



赤字は市の単独事業／青字は国の補正予算を活用するもの

予備費対応
《感染拡大防止策等》

- PCR検査機器等の購入
- PCR検査専門外来の設置

そのほか、緊急を要する感染拡大防止策などを実施

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

3つの考え方

- 1 域内経済の循環を促進
- 2 対象をしぼった重点的な支援
- 3 新しい生活様式の定着

観光
再生

お得に泊まって長崎市応援キャンペーン 事業費

6,752万円

県民対象に、市内宿泊施設等で使用できるプレミアム付き
クーポン券を販売します。

★3つのポイント

お得に泊まれる！

3,000円の宿泊クーポンを
1,500円で販売

もれなく特典も！

飲食店・土産店で使える
1,000円分クーポンをプレゼント

何回でも 利用できる！

※購入上限は10枚まで

対象施設（店舗）：長崎市内で営業する宿泊施設及び飲食店・土産店で、
新たな生活様式に対応した受入態勢の構築に取り組む施設。

（6月5日～募集予定）

販売・利用開始日：令和2年6月16日（火）

販 売 枚 数：20,000枚

そ の 他：県の宿泊助成キャンペーンと併用可能。
(併用方法については、後日発表)

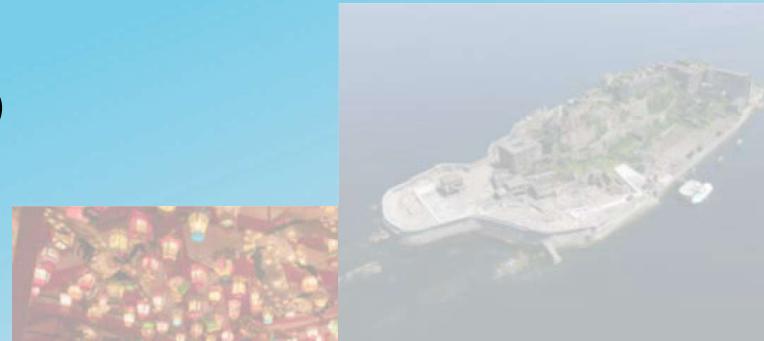


事業概要

国の旅行者支援制度の終了後を中心に、長崎市独自の旅行者割引制度・プロモーションを展開し、継続的な誘客を図る

事業内容

- ①長崎市独自の旅行者割引キャンペーン
(オンラインクーポンの発行・Webプロモーション)
- 対象期間:令和3年1月～3月(想定)
 - 割引額:最大10,000円/人
 - 発行枚数:15,000枚(想定)



- ②長崎からの手紙(長崎市民による市外への知人等へ向けた手紙の送付)
- 事業期間:令和2年6月下旬～8月(予定)
 - 対象者:観光施設市民無料キャンペーンに来訪した市民など



プレミアム商品券発行事業費

3億8,828万2千円

緊急事態宣言が段階的に解除され、社会、経済活動を動かしていく時期を迎えるなか、市内経済を活性化することを目的に、プレミアム付商品券を発行しようとする団体に対し補助するもの。

市がプレミアム分を補助することと併せて、登録事業者は商品券の使用者に対しプレミアムなサービスの提供を検討する。

○プレミアム率・商品券の種類等

飲食店限定商品券：プレミアム率30%（500円券×26枚） 30,000冊

共通商品券 : プレミアム率20%（500円券×24枚） 100,000冊

○商品券が利用できる店舗等

市内の全店舗等（登録制）

商品券購入の流れ（予定）

6月中

インターネットまたは
ハガキによる応募
(長崎市民限定)

7月中

抽選で購入者を
決定

8月から販売・使用開始

当選者は当選通知を
もって、商品券販売所
で購入（数量限定）

商店街等にぎわい復活支援費

850万円

新型コロナウイルス感染症により商店街や飲食店街等の失われたにぎわいを復活させるため、これらの団体が実施する各種イベントや新しい生活様式への取組みに対し支援するもの

○にぎわい復活支援費補助金

商店街や飲食店等の団体が実施するにぎわい復活のための各種イベントについて支援するもの。

(例)食べ・飲み歩き、スタンプラリー、復活祭等

- ・補助対象者:商店街や飲食店等の団体
- ・補助率 :9/10以内
- ・補助限度額:500千円以内

○新しい生活様式に取組む団体へのステッカーの配布

「新型コロナウイルス感染症予防のガイドライン」に基づく安全管理に取り組んでいる団体に対しステッカーを配布し、団体が認定する店舗に掲出することで、新型コロナウイルスに対する市民の不安を払拭し、にぎわいを取り戻そうとするもの。

- ・配布対象者:長崎市内の「新しい生活様式に取組む団体」
(1店舗あたり2枚配布)



※ステッカーイメージ

重点支援

新型コロナウイルス感染症 緊急雇用対策事業費

1,109万1千円

新型コロナウイルス感染症の影響による失業者等の雇用対策のため、会計年度任用職員(非常勤職員)の任用を行います。

任用期間

令和2年7月から(最長で令和3年3月末まで)

採用予定数

上記期間の中で延べ60か月の枠で任用

応募資格

長崎市在住者で新型コロナウイルス感染症の影響により

- ・採用の内定を取り消された者
- ・雇止めや解雇により職を失った者や事業を廃止した者
- ・家計収入の減少など経済状況が悪化した大学生

6月上旬
から募集を
開始します



重点
支援

長崎の花活用拡大支援費

765万円

消費が減退している花きについて、市役所・議会棟・図書館のほか市内の公共施設及び学校に花きアレンジを置き、花き産業の魅力を伝え、安らぎの提供と日常生活での花き利用の定着を図ります。



内 容

長崎市内産の花きを多く使用した花きアレンジを、各箇所10回設置



期 間

令和2年7月から12月まで



対 象 施 設

市役所・議会棟・図書館・学校ほか 141箇所



重点
支援

長崎文化時間の創出事業費

1,850万5千円

「三密（密接・密集・密閉）」を避け、屋外等で音楽コンサートや朗読劇の公演等を開催します。

芸術文化に触れることで、心豊かな生活を取り戻す貴重な時間・・・

それが『長崎文化時間』



- ◆場所(予定) グラバー園、出島表門橋公園など
- ◆出 演 者 市民文化団体、市民演奏家など
- ◆回 数 24回程度
- ◆開催時期 未定。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら決定します。

重点
支援

みんなの元気応援事業費

500万円

新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛により、地域住民の在宅時間が長期化しているため、地域住民を元気づけ、再び様々な活動に参加するきっかけをつくる事業を実施します。

外出自粛



事業内容

ミニコンサート
レクリエーション

など

〔開催場所〕
ふれあいセンター
など30か所程度
(市内全域)

活動に
参加する
きっかけ
づくり

地域のみんなが
元気に！



**重点
支援**

公共交通新型コロナウイルス 感染症対策費

2,449万4千円

今後も新型コロナウイルス感染の拡大防止などに継続して取り組み、市民が安心して利用できる移動手段の確保に努める公共交通事業者に対し支援を行うもの

**民間乗合バス・路面電車・タクシー事業者の
車内の除菌や消毒などの対策費用として**

市が支援金を交付

【支援額】

**公共交通事業者の
『保有台数』に応じて
算定**



重点支援

住居確保給付費

3,948万3千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、離職や廃業に至らなくても休業等に伴う収入減少により、住居を失うおそれがある方に対しても家賃相当分の給付を行うことができるようになりました。

支給対象者:①離職・廃業から2年以内の方

②給与等を得る機会が当該個人の責任に帰すべき理由・当該個人の都合
によらないで減少し、離職や廃業と同程度の状況にある方

※②は、4月20日に改正省令が施行され、対象が拡大されました。

支給期間 :原則3か月(一定の要件を満たせば6か月の延長が可能です。)

その他、申請にあたっては、収入、資産及び求職活動等の要件があります。

生活 様式

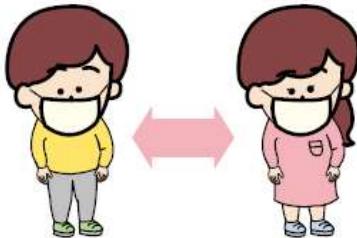
「新しい生活様式」啓発費

1,020万6千円

「新しい生活様式」の定着を図るとともに、市内の経済活動の回復に向けた機運を高めることを目的とし、「新しい生活様式」の実践や市内の事業者を応援するための取組みについて、市民への周知啓発を行う。

感染予防

新しい生活様式を上手に取り入れよう！



- 身体的距離の確保
- 三密を避ける
- マスクの着用
- 手洗い など

経済活動の回復

長崎のお店や企業をみんなで応援しよう！



- 長崎産を買おう、
食べよう
- 飲食店に
出掛けよう
- デリバリーやテイクアウト
を利用しよう など

事業内容

路面電車



バス



アーケード



様々な媒体を活用して周知啓発します。

- ・公共交通機関(バス・電車)の看板広告、車内広告
- ・アーケードや公共施設など人の目にふれやすい場所への看板やポスターの掲示、街頭ビジョンでの放映、雑誌広告 など

公共施設



街頭 ビジョン



「GIGAスクール構想(文部科学省)」の実現

～誰一人取り残すことない、公正に個別最適化された学びを実現～

15億6,397万5千円

災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用によりすべての子どもたちの学びを保障できる環境を早期に実現



児童生徒1人1台の情報端末、および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備

1人1台端末



校内LAN整備



Wi-Fi環境

ICT支援



充電保管庫



生活
様式

学習者用コンピュータ整備費

市立小・中学校

8億2,926万7千円

小4～中3までの学習者用端末を1人1台整備します

Society5.0時代の学び

創造性を育む学び

蓄積されたデータを活用
した学びの充実



個の能力に応じた学び

「個別的」な、時には「協
働的」な学びの充実

ICT機器のマストアイテム化

誰でも・どこでも・どの教科でも



ICTによる個別最適化された学びの実現

生活
様式

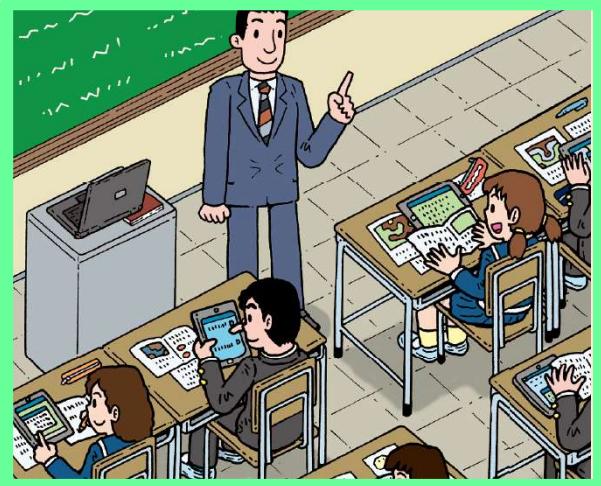
情報通信ネットワーク環境整備費

市立小・中・高等学校

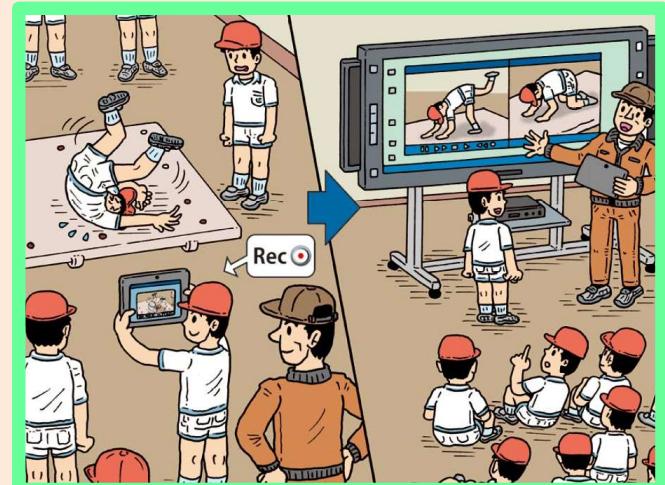
7億1,200万円

「1人1台端末」時代へ向け学校のネットワーク環境を充実し 端末を保管する充電保管庫を整備します

教室で



体育館で



図書室で



I C T を誰でも・どこでも・どの教科でも活用できる環境整備

生活
様式

ICT支援費

市立小・中学校

2,270万8千円

「GIGAスクール構想」による急速な学校のICT化と
小学校プログラミング教育を支援します



プログラミングの経験がない教員に対して
専門的な立場で支援

急速な学校のICT化に対し円滑な機器の
整備を支援

医療体制

地方独立行政法人 長崎市立病院機構費 運営費負担金

4,545万3千円

長崎みなとメディカルセンターが感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者の受入に備えるため、医療機器などを購入するための負担金を増額します。

- ◆ポータブルX線撮影装置
- ◆血液ガス測定器
- ◆サージカルマスク
- ◆フェイスシールドなど

【長崎市立病院機構病院事業債管理特別会計】 長崎市立病院機構貸付金

2,740万円

長崎みなとメディカルセンターの新型コロナウイルス感染症患者の対応に必要な医療機器を購入することに伴い、貸付金を増額します。

【購入予定機器】

- ◆人工呼吸器
- ◆体外式膜型人工肺(ECMO)など



分析究理所遺構整備費

3,580万円

小島養生所跡関連遺跡の分析究理所遺構の保存・活用を図るため、復元整備を行います。

遺構整備イメージ



新校舎建設時に取り除いた分析究理所の石垣等の遺構について、元の姿を彷彿させるように一部複製を含め、敷地内で移設・復元します。

場所:仁田佐古小学校敷地
供用開始時期:令和3年4月
(予定)

漁港施設整備事業費

1億5,900万円

野野串漁港防波堤改良

5,200万円

たちばな漁港護岸改良(戸石島の前地区) 3,100万円

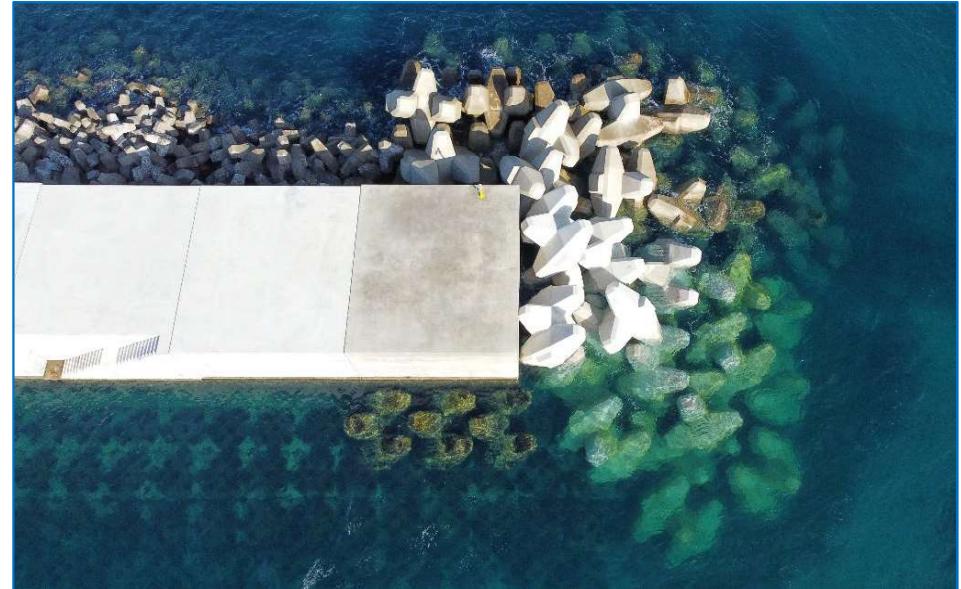
為石漁港海岸保全施設整備

7,600万円

荒天時の越波から漁港や背後集落を守るために、防波堤や離岸堤等の漁港の整備を進めます。



施工中（野野串漁港）



施工後（野野串漁港）